

ハンドボール No. 81

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高专
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 県協会

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会
- 地区大会

- 男子
- 女子

試合番号 **菊池-女27**

年月日 **2019年8月5日(月)**
大会名 **令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会**

公式記録用紙

A		神戸星城高等学校						広島山陽学園山陽高等学校						B	
都道府県		市町村		会場								回戦			
熊本県		菊池市		菊池市総合体育館								2回戦			
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m20-277st	A	B	
	7	11	15	16											
7m得点/総数	A		チームタイムアウト					チームタイムアウト			B		7m得点/総数		
	0/0		1	2 後半	3			1	2 後半	3	0/1				
			1716	1312	2414			2619	0529	1612					

No.	神戸星城高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	広島山陽学園山陽高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
9	戎井 琴音							1	内藤 南						
10 C	森 朱音	4	1					2	福島 美奈						
11	荒川 桜優	2						3	南里 佳奈						
12	大西 葵							4	小玉 幸采	1					
13	船田 若菜	2		1				5	建田 ひかる	1					
14	廣本 影	1						6	大塚 里咲						
15	吉田 妃那	1						7	杉原 あみ						
16	田井 麗美							8	岡村 優衣	5	1				
17	石坪 彩瑛	5						10	宮本 朋香						
18	櫻井 菜々海							11	磯川 さくら	3					
21	加藤 鈴乃							13	長崎 楓						
23	高橋 ひなた							14 C	倉岡 愛実	6					
24	小嶋 彩華			1				15	植松 美結						
29	中村 奏							16	西村 千夏						
役員A	野路 良子							役員A	青戸 あかね						
役員B	杉原 壮							役員B	檜垣 美瑚桃						
役員C	楠木 胡桃							役員C	濱部 碧						
役員D								役員D							

A	野路 良子	チーム役員A署名	青戸 あかね	B
---	-------	----------	--------	---

レフェリー	前上里 亘	知念 昌平	前上里 亘	知念 昌平
TD	吉井 雅一	古田 陽一	吉井 雅一	古田 陽一
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 83

令和元年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 5日 月曜
会場	菊池市総合体育館
種別	女子
回戦	2回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
	神戸星城	15	7 - 11	後半	16
8 - 5					
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

戒井

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

磯川

戦評	前半
	<p>神戸星城のスローオフで試合開始。神戸星城は3-2-1ディフェンスでプレッシャーをかける。先制は山陽。岡村のカットイン、小玉のサイドシュートで連続得点。神戸星城も森のロングシュート、船田のサイドシュートで、8分には2-2の同点とした。4-4の12分58秒に神戸星城の船田が退場し、山陽に7mTが与えられたが、これをGKの田井がセーブ。さらに神戸星城は6人攻撃を仕掛けるが、逆に山陽の岡村の速攻、倉岡のカットインで4-6となった。20分まで6-7の拮抗した展開であったが、山陽の磯川、岡村、倉岡らの4連続得点により、27分には6-11となった。終盤、神戸星城は、森のステップシュートで1点を返すが、山陽4点リードで前半終了。</p>
後半	
<p>後半開始、神戸星城の石坪ミドルシュートが決まる。さらに船田のサイド、石坪のカットインで7分には10-11とその差を詰めた。しかし、山陽も建田の速攻、倉岡のシュートで10-13とする。試合が膠着する中、13分過ぎ、神戸星城の荒川サイド、続いて森のカットイン、荒川の速攻が決まり、16分には13-13の同点となった。その後、山陽は倉岡のロング、神戸星城は石坪が速攻を決め、14-14の同点で終盤を迎えた。山陽の倉岡が21分にミドル、24分にもステップを決め14-16とした。残り4分を切り、神戸星城は山陽の倉岡ヘマンツーマンを仕掛け最後の反撃を試みるが、あと一歩及ばず、辛うじて15-16の得点で山陽がこの接戦を制した。</p>	

記入者

山下 智紀